

## 令和7(2025)年度 十勝農試定期作況報告 小豆

月	作況	事由
6月20日	やや良	播種期は平年より1日遅い5月26日であった。播種前後に十分な降雨があったため、出芽期は平年並であった。6月が平年より高温に経過したことから、主茎長および本葉数は平年を上回っている。 以上のことから現在の作況はやや良である。
7月20日	やや良	6月下旬～7月中旬が高温に経過したことから、開花始は平年より5日早い7月16日であった。主茎長は平年並であり、本葉数は平年を上回っている。 以上のことから現在の作況はやや良である。
8月20日	やや良	7月下旬～8月中旬が高温に経過したことから、主茎長および本葉数は平年を上回り、分枝数は平年並であった。着莢数は「きたろまん」で平年並、「エリモ167」で平年より多かった。 以上のことから現在の作況はやや良である。
9月20日	やや不良	8月下旬～9月上旬が高温少雨に経過したことから、成熟期は平年より6～8日早かった。主茎長および主茎節数は平年を上回ったが、着莢数および一莢内粒数は平年を下回った。 以上のことから現在の作況はやや不良である。
10月20日	不良	登熟期間が高温に経過したため、百粒重は平年を下回り、子実重の平年比は「きたろまん」で86%、「エリモ167」で70%と平年を大きく下回った。脅粒率は平年より少なかった。 以上のことから、現在の作況は不良である。
11月20日	不良	播種期は平年より1日遅かったが、播種前後の十分な降雨により出芽期は平年並であった。生育期間を通して高温に経過したことから開花始は平年より5日早く、成熟期は6～8日早かった。また、主茎長および主茎節数は平年を上回った。7月の高温少雨により着莢障害が見られ、着莢数および一莢内粒数は平年を下回った。また、登熟期間が高温に経過したため、百粒重は平年を下回り、子実重の平年比は「きたろまん」で86%、「エリモ167」で70%と平年を大きく下回った。脅粒率は平年より低く、検査等級は平年より優った。 以上のことから、本年の作況は不良である。

### 生育データ

品種名		きたろまん			エリモ167		
項目／年次	本年	平年	比較	本年	平年	比較	
播種期(月日)	5.26	5.25	1	5.26	5.25	1	
出芽期(月日)	6.9	6.8	1	6.9	6.9	0	
開花始(月日)	7.16	7.21	△ 5	7.16	7.21	△ 5	
成熟期(月日)	9.7	9.13	△ 6	9.6	9.14	△ 8	
主茎長 (cm)	6月20日	4.6	4.1	0.5	5.3	4.2	1.1
	7月20日	20.6	21.8	△ 1.2	23.4	22.7	0.7
	8月20日	76.8	69.6	7.2	70.1	67.7	2.4
	9月20日	82.8	73.5	9.3	72.2	70.1	2.1
	成熟期	82.8	73.4	9.4	72.2	70.9	1.3
本葉数 (枚)	6月20日	1.2	0.5	0.7	1.2	0.5	0.7
	7月20日	8.4	6.9	1.5	9.3	7.1	2.2
	8月20日	17.8	12.9	4.9	18.3	14.0	4.3
主茎節数 (節)	9月20日	18.2	15.3	2.9	18.7	16.2	2.5
	成熟期	18.2	15.3	2.9	18.7	16.3	2.4
分枝数 (本/株)	7月20日	3.1	3.0	0.1	3.8	2.9	0.9
	8月20日	2.9	3.0	△ 0.1	4.2	4.0	0.2
	9月20日	3.1	2.9	0.2	3.8	3.5	0.3
	成熟期	3.1	2.8	0.3	3.8	3.5	0.3
着莢数 (莢/株)	8月20日	51.8	51.0	0.8	66.7	59.2	7.5
	9月20日	41.1	48.4	△ 7.3	48.2	55.0	△ 6.8
	成熟期	41.1	48.4	△ 7.3	48.2	54.1	△ 5.9
一莢内粒数(粒)	5.60	5.99	△ 0.39	5.61	5.92	△ 0.31	
総重(kg/10a)	542	587	△ 45	423	608	△ 185	
子実重(kg/10a)	298	345	△ 47	239	342	△ 103	
百粒重(g)	14.6	16.3	△ 1.7	11.8	14.3	△ 2.5	
脅粒率(%)	1.7	5.3	△ 3.6	2.5	4.2	△ 1.7	
品質(検査等級)	1等	2下	—	2中	2下	—	
子実重対平年比(%)	86	100	△ 14	70	100	△ 30	

備考 1) 年平値は、前7か年中、令和3年(豊作年)および令和2年(凶作年)を除く5か年平均である。

2) △は平年と比較して「早」、「少」、「短」、「軽」、「低」を表す。

3) 着莢数は、8月20日現在は莢長3cm以上、9月20日現在及び成熟期は稔実莢を示す。

4) 子実重及び百粒重は、水分含量15%に換算した値。

5) 品質(検査等級)は、農産物検査による等級。2等・3等は上・中・下に分けた。

### 耕種概要

一区面積 (m <sup>2</sup> )	区制	前作物	畦幅 (cm)	株間 (cm)	1株本数	株数 (株/10a)	播種日 (月日)
12.0	3	えん麦 野生種	60	20	2	8,333	5.26

施 肥 量 (kg/10a)					
N	P <sub>2</sub> O <sub>5</sub>	K <sub>2</sub> O	MgO	堆 肥	その他の
4	20	11.2	4	なし	なし